

入試結果

	募集定員	一般入試			入学者数
		受験者数	合格者数	倍率	
2018年度	120名	504名	120名	4.27倍	120名
2019年度	120名	490名	120名	4.08倍	120名
2020年度	120名	442名	120名	3.68倍	120名

※入試平均点・合格者最低点共に非公開

2021年度募集要項

◆【募集定員】120名

<試験日> 1月23日(土)
<合格発表> 2月1日(月)
<試験科目> 適性検査I・適性検査II

<時間> 各45分
<配点> 適性検査I120点 適性検査II80点

学校情報

●入試について

- 選抜内容は①適性検査②志望理由書③調査書を総合的に評価する。
- 適性検査は、検査1と検査2を実施する。
「検査1」(45分・120点満点)…資料等をもとに課題を発見し解決する過程を多様な方法で表現させることを通して、自然等への関心、思考力、判断力などの総合的な力をみる。
「検査2」(45分・80点満点)…テーマに基づき自分の考え等を文章で表現させることを通して、社会等への関心や主体的に学ぶ意欲、目的に応じて適切に表現する力をみる。
- 志望理由書は、入学志望理由を志望者(生徒)本人が記入する。選考の補助資料となる。
- 調査書は5、6年生時(6年生時については2学期末現在)の各教科の学習の記録をA、B、C、D、Eの5段階で評定する。その他の記載事項については選考の補助資料とされる。

●求める生徒像について

- 小学校教育で身につけた基礎・基本の上に立ち、6年間にわたって主体的に学ぶことのできる意欲・能力を有する生徒。
- 自分の思いや考えを適切に表現するとともに、他者や社会に関心を持ち、これらと積極的に関わっていくとする意欲・態度を有する生徒。

●教育方針について

- ミッション(使命)
生徒一人一人の夢を実現する公立中高一貫教育を推進し、地域社会をリードする人材を育てる。さまざまな国際交流・国際体験を通して、グローバルな社会で活躍できる人材を育てる。福山市公立学校全体の発展のため、すぐれた教育実践を創造・発信する。
- ビジョン(将来像)
中高の系統的な学習活動を通して、自己の進路に向け、主体的に歩む生徒を育てる。中高の学校生活の中で共に成長する経験を通して、心優しく自律する生徒を育てる。進学校としての位置を確立させ、福山市民が全国に誇れる中高一貫校として発展していく。
- 中学では学力調査通過率90%以上を目指し、高校では国公立大学合格者50%以上、難関大学合格者10名以上を目指す。

●国際交流について

- 新世紀を迎えた今、未来を担う人材には国際感覚がますます求められている。福山高等学校では早くからこの点を重視し、1990年カナダグレンデール校との姉妹校縁組みを皮切りに、現在はオーストラリア、プリズペンへのホームステイなどの国際交流を積極的におこなっている。2005年度からは、中学生も参加している。
- 国際理解教育の一環として、2004年度より、海外修学旅行を実施している。2016年度はシンガポールに行き、現地の大学生と交流したり、文化を体験したりという、体験型の修学旅行をおこなっている。

クラブ活動

- 体育系 少林寺拳法/バドミントン/ソフトテニス/陸上競技/サッカー/バレーボール/バスケットボール/剣道/水泳
- 文化系 吹奏楽/美術/演劇/放送/自然科学/新聞/英語/家庭研究

進路実績

大学の合格実績については、【公立高校編】市立福山高校に掲載。